

かいじろう  
の詩画



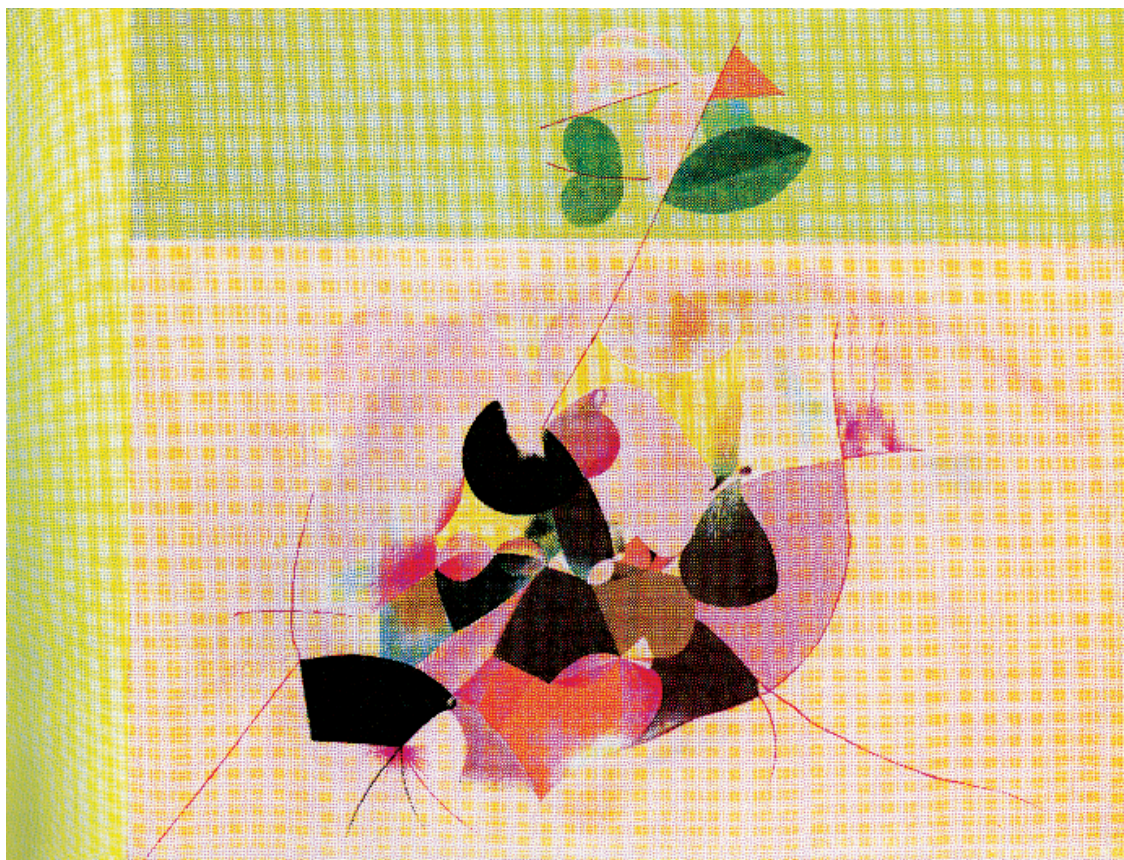
明るい電車の中で

菜の花の丘をすぎて  
やがて海岸のみえるあたり  
明るい電車の中で

すやすやと眠っている娘よ  
柔かな絹の衣をささえながら  
あなたのコサージュの桜草に  
金色の生毛のほのかに匂ふ花の中に  
あなたは何を夢見ていらっしゃる

小鳥たち、或いは微風よ  
花々は小さかったけれども美しいものになら  
胡蝶となって倅をもたらしておくくれ

明るい電車の中でひとつの  
愛の物語が結ばれるまで娘よ  
目覚めることなくすやすやと眠っていておくれ



1958 芽ばえ



かいじろう  
の詩画



1954 チューリップ

娘よ  
時は春だ  
らんまんと  
花の泣いている春だ

自然は愛だ  
愛に抱れよう  
衣をすてて  
青空に  
白い痛みが走ったら

娘よ  
衣をすてて  
野に出でよ  
自然が待っている  
大きな自然が  
両手を拡げて待ってる

衣をすてて  
時は春だ  
らんまんと  
花の泣いている  
春だ

衣をすてて



1954 ストック水仙マーガレット